

乳幼児健康診査・相談など

問 市民保健センター TEL 06-6992-2217

健診・相談など	とき		受付時間	場所
	6月	7月		
4カ月児健診	11日(木)	9日(木)	10:00~10:45	児童センター
	16日(火)	21日(火)	9:30~10:30	市民保健センター
	25日(木)	30日(木)	9:45~10:45	市役所
1歳6カ月児健診	4日・18日(木)	2日・16日(木)	13:00~14:00	市民保健センター
2歳児歯科健診	5日・19日(金)	3日・17日(金)		
3歳6カ月児健診	12日・26日(金)	10日・31日(金)		
乳児後期健康診査 (4カ月児健診において受診票を渡します)	通年		受診期間は 生後9カ月~ 1歳未満の間	府内委託医療機関

備 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催日の変更・中止や、それに伴い案内を送付する対象者が予定と異なる場合があります。最新の情報は市ホームページをご覧ください。

4カ月児・1歳6カ月児・2歳児歯科・3歳6カ月児健診については、案内を送付します。

駐車場は有料です。駐車台数に限りがありますので、なるべく他の交通機関を利用してください。

注 2歳児歯科健診、3歳6カ月児健診時にフッ化物塗布実施。希望者は事前に歯磨きを済ませてください。

持 案内状、母子健康手帳、健康保険証、歯ブラシ(4カ月児健診は除く、フッ化物塗布時には必要)

健康相談

問 市民保健センター TEL 06-6993-2098

相談内容	相談日		受付時間
	6月	7月	
保健師による電話での健康相談	月~金(祝日を除く)		9:00~17:00

市民一般健康相談および歯科健康相談は当面の間、延期します。

大阪府守口保健所の各種相談など

内容	とき(祝日を除く)	費用	予約	連絡先
HIV検査(匿名可) 梅毒・クラミジアの同時検査可	原則、第2・第4月曜日 10:00~11:00	無料 (注1)	不要	地域保健課 TEL 06-6993-3132 TEL 06-6993-3133
肝炎ウイルス検査	原則、第2・第4月曜日 11:00~11:30		検査日前週の金曜日 までに要電話予約	
こころの健康相談	月~金曜日 9:00~17:45	無料	必要	
水質検査、検便検査	火曜日(月2回) 9:30~11:30	有料 (注2)	問い合わせください	衛生課 TEL 06-6993-3134

(注1) 有料の場合もあり (注2) 検査容器は保健所で用意

●休日応急診療所

場 大宮通1-13-7(市民保健センター内)

▽内科・小児科 TEL 06-6998-9970

土曜日……18:00~20:30

日・祝日…10:00~12:00、13:30~16:30

18:00~20:30

▽歯科 TEL 06-6998-9945

日・祝日…10:00~11:30、13:00~16:30

急患のつきは

●北河内夜間救急センター

場 枚方市禁野本町2-13-13

枚方市立保健センター4階

▽小児科 TEL 072-840-7555

受付時間(毎日) 20:30~翌日5:30

備 診療は21:00~翌日6:00

注 全ての診察に健康保険証持参

往診は行っていません。

市民保健センター
TEL 06-6992-2217

蚊が媒介する感染症の予防対策

近年話題になってきているデング熱、ジカ熱、日本脳炎などは、それぞれデングウイルス、ジカウイルス、日本脳炎ウイルスなどに感染したヒトスジシマカやコガタアカイエカに刺されることで感染します。

症状

▽デング熱

高熱や頭痛、全身の筋肉痛や小さな発しんなどが出る場合があります。まれに出血症状が出現し、重症デングウイルス感染症になることがあります。

▽ジカ熱

多くは皮しんのみで、発熱は軽度か、見られないこともあります。妊婦が感染すると小頭症など先天性障がい発生の関連性が強く疑われています。

過度の心配は不要ですが、予防としてできるだけ蚊に刺されないようにすることが大切です。

▽日本脳炎

高熱・頭痛・嘔吐・意識障がいやけいれんなどを主徴とする急性脳炎で、感染者の100~千人に1人が脳炎を発症すると言われ、日本では年間数人~10人程度の発症が報告されています。予防接種で予防できます。(定期接種対象年齢などは健康カレンダーで確認してください)

予防方法

屋外で行動する時は、蚊に刺されないように、次のような予防対策をとりましょう。

- ①長袖・長ズボンを着用する
 - ②素足でのサンダルは避ける
 - ③虫除け剤や蚊取り線香を使用する
 - ④白色など薄い色の服を着る
- また、幼虫発生源となる住宅周辺で水のたまっている場所(植木鉢の受け皿、バケツなど)を片付けましょう。



マダニに注意しましょう

春から夏にかけてマダニの活動が活発化します。野山などの草むらへ入る時には、マダニに刺されないよう注意が必要です。

野外にいる吸血性のマダニとして、大型のマダニ(1~4mm)、小型のツツガムシ(0.5~1mm)などが知られて

います。

これらのマダニに刺されても、痛みやかゆみなどを感じることはありませんが、病原体を保有しているものもあるため、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、日本紅斑熱、ツツガムシ病などの感染症にかかる恐れがあります。備 全てのダニが病原体を保有しているとは限りません。

マダニやツツガムシなどに刺された場合に、自身で取り除くと、頭の部分のみが残ってしまう可能性があります。自身で取り除かず、皮膚科や内科などの医療機関への受診をお願いします。

マダニに刺されないために

草むらなどに入る時は、袖口からダニが入り込むこともあるため、手首・足首などの袖口を絞ることができる長袖や長ズボンを着用し、できるだけ肌の露出をしないような服装にしましょう。ナイロン製の衣服は表面がツルツルしていてダニが付きにくくなる他、防虫剤なども効果的です。

野山などから帰った後は、すぐに入浴し、頭をしっかり洗いましょう。

脱いだ服はナイロン袋などに入れ、すぐに洗濯しましょう。

もしマダニに刺された後、下表のような症状が出た場合には、念のため、医療機関を受診しましょう。受診の際には、ダニに刺されたら担当医師へ申し出てください。

マダニの潜伏期間と症状

	潜伏期間	症状
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	6日~14日	発熱、消化器症状、全身けん怠感など
日本紅斑熱	2日~8日	発熱、頭痛、全身けん怠感など
ツツガムシ病	5日~14日	発熱、ダニの刺し口、発しんなど

備 潜伏期間とは、ダニなどに刺されてから症状がでるまでの期間です。